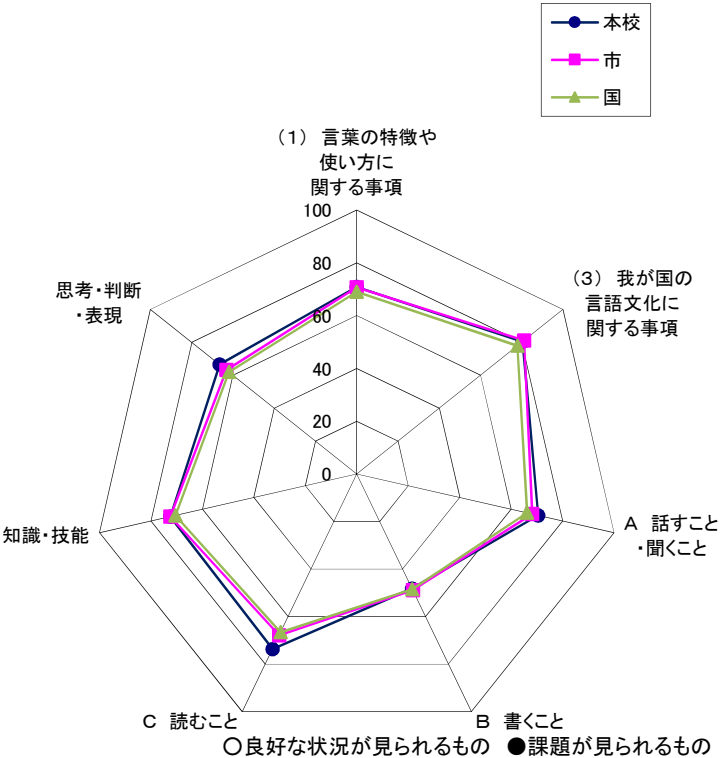


宇都宮市立富士見小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	70.9	70.7	69.0
	(2) 情報の扱いに関する事項			
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	80.4	81.1	77.9
	A 話すこと・聞くこと	70.5	68.2	66.2
	B 書くこと	48.2	48.9	48.5
	C 読むこと	73.7	67.9	66.6
観点	知識・技能	72.5	72.5	70.5
	思考・判断・表現	66.5	63.2	62.0
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	○本領域の平均正答率は70.9%で、国の正答率を1.9ポイント上回った。 ○「言葉には相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える」の平均正答率は78.6%で、国の正答率を9.8ポイント上回った。 ●「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」の平均正答率は3問中2問が国の正答率を下回った。	・話し合い活動において、互いの発言の内容を適切に捉え、相手の意見のよさを伝えながら話し合いを進めることで、言葉には相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えることができるようにしていく。 ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うために、当該学年までに配当されている漢字を適宜使用し、文や文章の中で使うことができるように指導していく。
(3) 我が国の言語文化に関する事項	○本領域の平均正答率は80.4%で、国の正答率を2.5ポイント上回った。 ○「漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く」の平均正答率は80.4%で、国の正答率を2.5ポイント上回った。	・読みやすい文や文章を書くために、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことや、漢字や仮名の大きさ、配列に注意しながら書くことができるようにしていく。
A 話すこと・聞くこと	○本領域の平均正答率は70.5%で、国の正答率を4.3ポイント上回った。 ○「必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える」の平均正答率は89.3%で、国の正答率を4.6ポイント上回った。 ●「互いの立場や意図を明確にしながる計画的に話し合い、自分の考えをまとめる」の平均正答率は、国の正答率を4.1ポイント上回っていたが、51.8%であった。	・話し合い活動では、自分の立場を明らかにするとともに、選んだ立場のよい点や問題点を明確に考えられるように指導する。そして、その問題点の解決方法について具体的に考えたり伝えたりする活動を通して、自分の考えをまとめながら計画的に話し合いができるようにしていく。 ・話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えられるようにするために、話し合い活動では、必要なことを記録したり質問したりしながら聞くように指導していく。
B 書くこと	●本領域の平均正答率は48.2%で、国の正答率を0.3ポイント下回った。 ●「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける」の平均正答率は、国の正答率を2.5ポイント上回っていたが、40.2%であった。 ●「文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える」の平均正答率は56.3%で、国の正答率を2.9ポイント下回った。	・自分の文章のよいところを見付けることができるように、推敲で取り上げた観点を含め、様々な観点で互いの書いた文章を読み合い、感想や意見を伝える機会を積極的に設けていく。 ・読み手に自分の考えを明確に伝えるために、自分で書いた文章を読み返し、文や文章を整えることができるようにしていく。そのために、内容や表現に一貫性があるか、目的に照らして適切な構成や記述になっているか、事実と感想、意見とが区別して書かれているか、引用の仕方、図表やグラフの用い方は適切かなどといったことを観点として示し、指導していく。
C 読むこと	○本領域の平均正答率は73.7%で、国の正答率を7.1ポイント上回った。 ○「登場人物の相互関係について、描写を基に捉える」の平均正答率は80.4%で、国の正答率を9.8ポイント上回った。 ●「表現の効果を考える」の平均正答率は、国の正答率を4.2ポイント上回っていたが、63.4%であった。	・想像した人物像を全体像と関わらせながら、様々な表現が読み手に与える効果について、自分の考えをもたせる機会を設けることで、表現の効果を考えることができるようにしていく。 ・登場人物の相互関係や心情を捉えたり、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したりすることができるようにしていく。また、物語文の学習では、文章の中で出てくる表現の効果についても考える機会を設ける。